



2022 年 2 月 17 日

九州電力株式会社

ニッポンレンタカーサービス株式会社

東京センチュリー株式会社

日本カーソリューションズ株式会社

電気自動車（EV）レンタカーを活用した新たな取組みを開始します
－ 平日は業務用車両・土日祝日はレンタカーとして EV を活用 －

九州電力株式会社（本店：福岡県福岡市、以下、九州電力）、ニッポンレンタカーサービス株式会社（本社：東京都千代田区、以下、ニッポンレンタカー）、東京センチュリー株式会社（本社：東京都千代田区、以下、東京センチュリー）、日本カーソリューションズ株式会社（本社：東京都千代田区、以下、NCS）の4社は、電気自動車（EV）レンタカーを活用した新たな取組みを本日から開始します。

記

この取組みは、EV リースにおける豊富な知見・実績を有する NCS がニッポンレンタカーに EV を提供し、平日は九州電力が業務用車両として利用し、土日祝日などの休日はニッポンレンタカーが薬院駅前営業所（福岡市中央区）で EV レンタカーとして一般のお客さまにご利用いただくものです。

この取組みは、業務用車両の EV 導入に留まらず、レンタカーとしての活用を通じて一般のお客さまに気軽に EV をご利用いただくことで、EV の普及拡大およびシェアリングエコノミーにもつながるものとなります。

また、多くの太陽光発電が稼働する九州においては、再生可能エネルギーの有効活用のため、蓄電池を活用する機会の増大が見込まれており、将来的に EV が普及した際には、EV のバッテリーを蓄電池として活用するスキームも考えられます。これを見据え、今回は、東京センチュリーが九州に所有するメガソーラーと EV の蓄電池機能を組み合わせることによる、再生可能エネルギーの有効活用についても検証します。

九州電力は、九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050に掲げる「電源の低・脱炭素化」と「電化の推進」を柱とし、EVの普及拡大に向けて、EVタクシーの導入やマンションでのEVシェアリングなどお客さまに合わせた最適なサービスの提供などに取組んでいます。また、ニッポンレンタカー、東京センチュリー、NCSの3社は、マテリアリティに「脱炭素社会への貢献」を掲げ、自動車のEV化進展に伴う多様な事業機会の創出に取組んでいます。

今後4社は、この取組みを通じて、EVの普及拡大を更に推進することにより、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

以 上